

地域のできこと

R2.9

信濃町でスイートコーン収穫機の実演会が開催されました

令和元年度に町内の「株式会社ファームかずと」が産地パワーアップ事業で導入した収穫機の実演会が、8月6日に開催されました。

生食用スイートコーン収穫機は県内では初めての導入で、北海道のメーカーが開発したものです。構造はキャベツ収穫機に似ており、作業時はオペレータと選別に1名ずつが乗り込み、1条刈りで主茎を地際25cm位でカットしてベルトで巻き上げ、ねじるようにして雌穂(俵)をもぎ取り、機体後部に背負う大型コンテナへ送り込みます。

栽植本数が10a当たり3,000本のは場で、機械の導入前は一人で1時間に収穫できるのは500本、10人ほどが必要でしたが、導入後は1時間当たり1,000本、3aの収穫が可能となりました。

併せて導入されたブームスプレーヤーは、イタリア製でタンク容量が3,100ℓ、ブームは伸ばすと左右で28mにもなる巨大な機械で、動く姿は雄大でした。

「株式会社ファームかずと」は平成20年に法人化し、スイートコーン23haと馬鈴薯12haを栽培しており、耕作放棄地の活用により年々規模を拡大しています。平成28年からはシンガポールへ冷凍したスイートコーンの輸出を行っています。

選別機も導入していることから、経営の効率化が図れるものと期待されます。



スイートコーン収穫機



アームを伸ばしたブームスプレーヤー